

2010年9月18(土)・19(日)

会場

「2010 スーパーエイジ刈谷大会」・今年も大成功

刈谷市総合運動公園
グリーングラウンド(人工芝・天然芝)

9月18・19の両日、記録的なこの夏の猛暑を象徴するような「残暑(最高気温 33℃)」のもと、「2010 スーパーエイジ刈谷大会」が、今年も刈谷総合運動公園グリーングラウンドの芝生ピッチで開催されました。



「この暑さはヤバインじゃないか?」という心配をよそに、3面ある各コートでは、今年の猛暑を上回る熱い戦いが繰り広げられました。



ここ数年、毎年感じるのですが、「年々歳々、レベルが上がっている」ことに驚かされます。 流れるようなパスワーク、オープンスペースを「ウイング」(←懐かしい)が駆け上がり、センタリング、ゴール前での激しい球際の争い…。 若干、スピードと運動量は落ちるものの、まさに現役時代が想像できるプレーぶりでありました。そして、身体能力の衰えを補って余りある「口撃力」の凄まじさには、脱帽するしかありませんでした。特に「ロイヤル・カテゴリー」(70歳以上の混成フレンドリーマッチ)のピッチ上では、疲れを知らぬ饒舌さで、敵味方そして審判団の区別なく強烈な「野次」が飛び交っておりました。本当にお元気で、皆様……

特に、審判のジャッジに対しては、執拗に「説明責任」を追求する姿は「レフリー育成教育」の観点からは、これ以上ない教育の場となったと思われます。孫ほどの年齢のラインズマン君が「マジ、すげー、怖えー」と、つぶやいていた事が忘れられません。

今年も、80歳以上の「金パンツ」プレイヤー、85歳以上の「紫パンツ」プレイヤーの方々の御姿をお見受けいたしました。(「金 vs 紫」のマッチアップは壮観でした…)



初日に選手同士の激突で救急車の出動が1件ありましたが、翌朝お元気そうに「今日もプレーします、昨夜は宴会にも出ました…」と笑顔で本部までご挨拶にみえました…くれぐれも、ご無理だけはなさらず、また来年、元気に刈谷に集合して頂きたいと願うばかりです。

「スーパーエイジ」の皆様、今年もご苦労様でした、そして、ありがとうございました。